

# サツマイモ基腐病に注意

サツマイモ基腐病は、令和2年度から町内で発生が確認されています。

降雨により発病株の胞子が拡散し、周辺の株へ感染して発病の拡大を招きます。

サツマイモ基腐病の拡大防止策として、定植後の2週間ほどで発生が確認されるため、この時期に発病株を抜き取りましょう。ほ場周辺への放置は、胞子拡散の原因となりますので、適切に処分し、発病株除去後は銅剤の「Zボルドー」や「ジーファイン水和剤」などを散布し、感染を予防しましょう。

## 【薬剤の種類】

- ・Zボルドー
- ・ジーファイン水和剤
- ・アミスター20フロアブル
- ・トリフミン水和剤

※適正な苗消毒およびほ場の排水対策を実施していることが薬剤有効散布の条件です。

## 「サツマイモ基腐病」と「薬剤防除」の基本

サツマイモの生育状況	定植2週目～	定植5週目頃	定植6週目～	台風時
発病状況	【発病株の散】 苗消毒でとりこぼした株の発病	【発病株の増加】 前作の土壌残さ由来の発病が始まる	【二次感染】 二次感染による病気の拡大	【病勢の進展】 地上部の一部が枯死
防除方法と薬剤			感染を助長する豪雨や台風などの前に殺菌剤の予防散布を行う ※予防散布が難しい場合は降雨後速やかに散布	
○苗消毒	定植5週から6週までの効果			
○銅剤 ・Zボルドー ・ジーファイン水和剤	発病株の除去と 周辺株の銅剤散布		殺菌剤は連続使用せず銅剤と交互に散布する ※かんしょの生育に合わせて薬液を十分に茎葉へ付着させる	
○殺菌剤 ・アミスター20フロアブル ・トリフミン水和剤	★殺菌剤の 全面散布			

問い合わせ先  
役場農政課農政係  
☎(86)1136「直通」

# 「プラ」ごみの分別にご協力を

〜ながしまエコ通信〜

今月はプラごみの分別についてのお話です。

## 【リサイクルマーク】

商品のラベル部分にはさまざまな表示があります。

「プラ」マークは、リサイクル可能なプラスチック製品に表示されています。

汚れた状態のものや、容器・包装用以外のプラスチックはリサイクルできません。

汚れている場合は、きれいに洗ってからリサイクルごみとして出してください。汚れが落ちない場合には燃えるごみとして出してください。

## 【実は「プラ」ごみ】

あくまきを作る際に使用されるあく汁。このあく汁が入っていた容器、実はペットボトルごみではなくプラスチックごみです。

このように見た目で判断が難しいごみがあります。

表示されているリサイクルマークを見て分別しましょう。

## 【収集ネットの取り扱い】

資源ごみの収集ネットの持ち帰りは禁止です。

各公民館のごみステーションに配布している資源ごみ収集用のネットは、数に限りがあるため、収集日にネットが足りなくなり他の人に迷惑が掛かります。

このような行為は絶対に行わないでください。

## プラスチックごみ



## プラマーク



## ペットボトルマーク



## 問い合わせ先

役場介護環境課  
環境衛生係

☎(86)1153「直通」

